

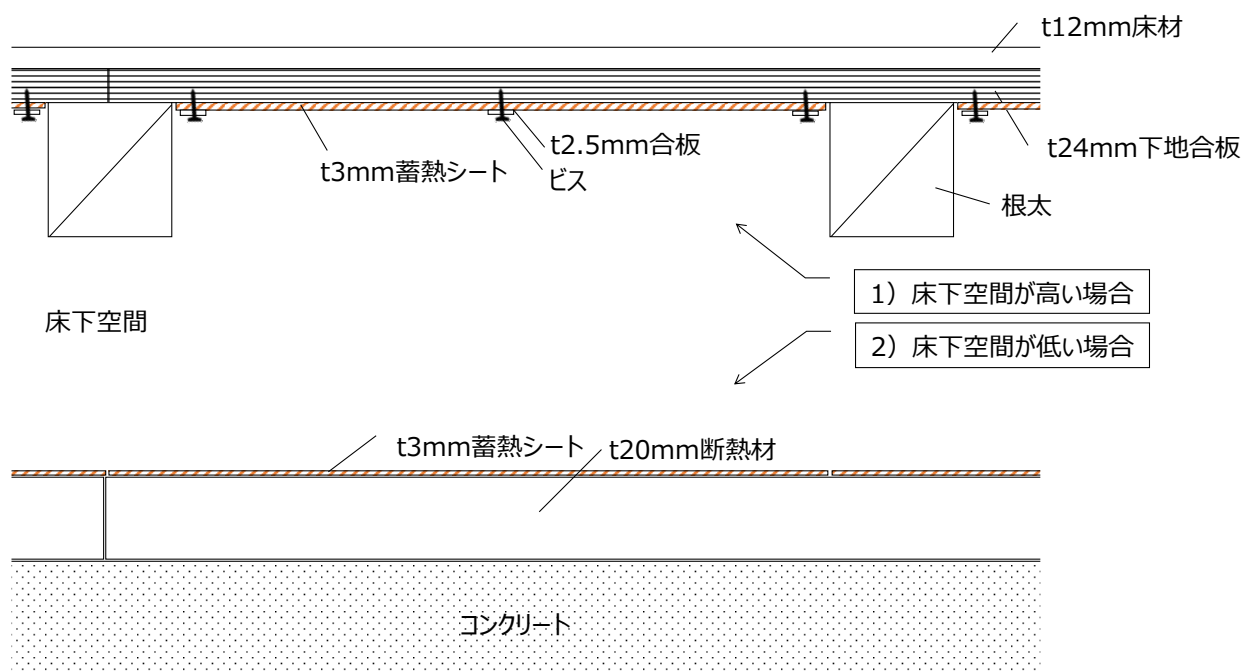
蓄熱シート CN-D29/25-3

設計・施工マニュアル

D I Cデコール株式会社

項目		内容	備考
設計項目	蓄熱量 (15～35℃)	200 k J /㎡以上	降温 268、昇温 268 (JSTM O 6101 実測値)
	潜熱量 (15～35℃)	120 k J /㎡以上	降温 152、昇温 152 (JSTM O 6101 実測値)
	製品の厚さ	3mm	5 枚まで重ね合わせ可
	利用方法	屋根空気熱集熱式ソーラーシステム (全館空調) での利用であること	
	対象室の断熱	平成 11 年省エネ基準以上であること	
施工項目	製品の施工部位	床下空間の上面に貼り付け又は下面に敷設	設置方法の写真参照
	施工納まり図	施工納まり図 (例) 参照	
	蓄熱機能を失う 施工注意喚起	下面に敷設するときは、20mm 以上の断熱材の上に設置すること	

施工納まり図 (例)



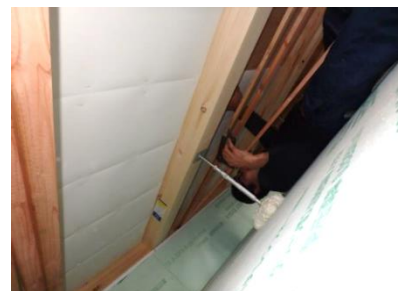
設置範囲

1 箱 300mm×900mm12 枚入り（3.24 m²）です。1 階床面積に応じて施工してください。

蓄熱シートは太陽熱で集熱した空気を蓄熱シートで蓄熱できる仕組みになっています。リビングや各居室等の温めたい箇所を中心に、できるだけ 1 階の床全面に施工してください。

設置方法 1（床を伏せた後設置する場合）

- ①蓄熱シートは必要な幅に合わせてカッター等で切ってください。
- ②設置場所は床下地合板の裏面です。蓄熱シートは光沢がある面が裏になります。床下合板との設置面は光沢がある面にしてください。仮止めする場合は、ビス又はタッカーを使用できます。
- ③胴縁などの当て板で蓄熱シートを押さえて、ビス又はタッカーで固定してください。
＊ビスピッチの目安は 15cm です。取り付けはビスのみでボンド等は不可です。



設置方法 2（床を伏せる前に設置する場合）

- ①床を伏せる前に作業する場合は、上記①～③の作業が同じです。
- ②その後裏返して、床合板を大引きに固定してください。



<完成の様子>



その他、床下空間が狭く、床下地合板の裏面に施工できない場合は、床に敷き詰めることができます。この場合、20mm 以上の断熱材の上に蓄熱シートを並べてください。（施工納まり図（例）参照）